

# 精神科病院で看護師が暴行

## 東京都

### 患者代理人「院内に暴力まん延」

看護師らによる入院患者への暴行が発覚し、逮捕者が出た精神科病院「滝山病院」（朝倉重延院長、東京都八王子市）をめぐり、被害を訴えた患者の代理人弁護士が17日、都庁で記者会見した。複数の職員による暴行を撮った動画や罵声の録音を公開し、「これらは偶発的なものではない。暴力が院内にまん延している」と指摘した。

（福田敏克）

### 加害者は13人以上

代理人弁護士相原 名を特定できない職員を2021年夏に内部通報を受けて以来、計10人の患者と面会。退院請求の代理人として院内の状況を調べた結果、氏名と加害内容を特定できた職員が13人、氏

名を特定できない職員を含めると加害者は20人前後という。内部の協力者から提供された動画には、白衣を着た人物が「しゃべるなっつってんだろ」とベッドにいる患者の頭を殴る場面があ

る。目の付近から血を流す患者や、手をベツドに縛り付けられた患者の画像もある。

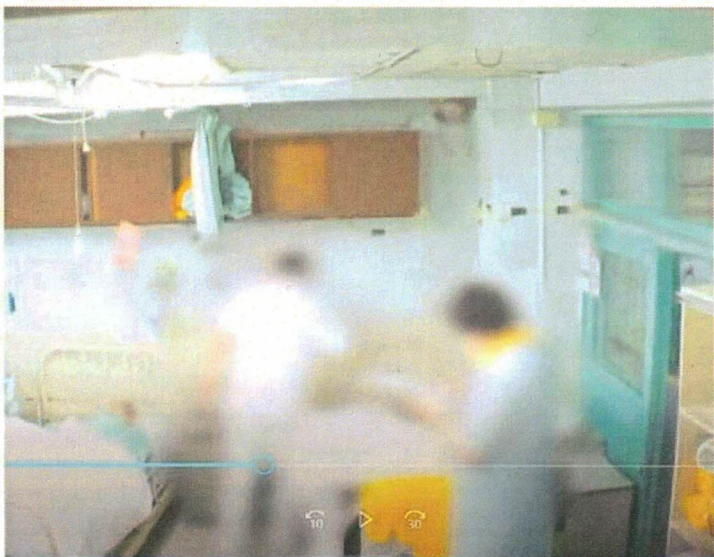
相原さんが面会した患者の1人は「このまま連れて帰ってください。病室に戻ればまた殴られる」と泣きながら訴え、約3週間後に死亡した。ほかにも暴力を受けた裏付けのある患者のうち2人の死亡が確認できたという。

相原さんは看護師ら4人が2022年1〜4月、複数の患者に暴

行したとして今年2月に刑事告発し、警視庁は14日、そのうち1人を頭部を殴った暴行の容疑で逮捕。病院を監督する立場の都は15日、予告なしで立ち入り検査をした。

また、厚生労働省は17日、全国の都道府県、指定都市に対し、虐待が疑われる事案の場合は病院職員だけでなく入院患者からも聞き取ることを、予告期間なしに実地指導できることを事務連絡した。

滝山病院は1986年5月の開設。ベッド数は精神科が255床、それ以外が33床。同院は虐待の事実関係について「捜査に全面的に協力しているところなので何もお答えできない」としている。



公開された映像には殴る場面や拘束する様子が映っている